



[HTTPS://WWW.WOMENBANTHEBOMB.ORG/](https://www.womenbanthebomb.org/)

**女性平和行進・集会のよびかけ：
核兵器が禁止されようとしている今、
あなたの声が必要です！**

2016 年末、国連総会は核兵器禁止条約交渉を開始するという画期的な決議を圧倒的的支持で採択しました。この歴史的な決定は、20 年に及ぶ多国間核軍縮交渉の努力の膠着状態の終わりを告げるものです。

2017 年の 6 月から 7 月にかけて、諸国政府は国連で核兵器禁止条約交渉を行います。WILPF と私たちの連合体は、街頭に出てこれを祝うとともに、この大量破壊兵器をきっぱりと禁止する良い条約を要求します。

核兵器禁止女性行進は、ワシントン女性行進を含む抵抗運動の高まりを基礎にした、女性がリードするイニシアチブです。すべてのジェンダー、性的指向、年齢、人種、能力、国籍、文化、信仰、政治的所属と立場を含む人々が、**2017 年 6 月 17 日土曜日 12 時から午後 4 時、ニューヨークで開かれる行進と集会に集います。**

日時

1. 正午、ブライアント・パークの West 40th Street 沿いの集合地点に集まってください。運動に加わって、刺激を受けて、連帯を築き、新しい友人を作って行進に備えましょう。
2. 12:30: 地図にあるルートを通って行進が出発します。終結地点のダグ・ハマショルド広場で集会が始まります。
3. 1:15 - 4:00 PM: ダグ・ハマショルド広場で集会。多くの発言者がスピーチし、ブースが設けられ、音楽のパフォーマンスがあります。発言者と演奏者は後日発表されます。



行動のよびかけ

核兵器禁止女性行進は、ワシントン女性行進を含む抵抗運動の高まりを基礎にした、女性がリードするイニシアチブです。すべてのジェンダー、性的指向、年齢、人種、能力、国籍、文化、信仰、政治的所属と立場を含む人々が、2017年6月17日土曜日12時から午後4時、ニューヨークで開かれる行進と集会に集うとともに、世界中で、国連で開催される核兵器禁止条約交渉への支持を表明して行動します。

価値観と原則

核兵器は母なる地球に直接の脅威を及ぼします—空気、水、気候、食料源に対してです。偶発的であれ意図的であれ、一発でも核爆発が起こると人道的な壊滅的被害を引き起こし、地球全体と私たちの社会に圧倒的な影響を及ぼします。核兵器の指揮権は少数の支配者たちの手のうちにあります。一握りの国々の政府指導者たちは彼らが地球全体に絶滅の脅威を及ぼし全ての人々の集団虐殺を行う権利があると考えているのです。いかなる核兵器の使用もその影響は地球全体におよびます。

私たちはこう考えます：

- 核兵器のない世界は可能であるだけでなく、人類の生存にとって不可欠です。人類は核による絶滅の不安や脅威から解放された尊厳ある生活を送る権利があります。

- 核兵器の保有、使用、使用の威嚇は、人間の倫理と原則に照らして許されません。
- 偶発的であれ意図的であれ、いかなる核爆発も、壊滅的な規模の人道危機を引き起こします。
- 各国政府は、死と貧困、戦争をもたらすだけの大量破壊兵器に投資するのではなく、全ての人々の最大の利益に資する責務を負っています。
- 核兵器の維持に浪費されている財政的・技術的資源は、全ての人々のための社会正義と経済的平等のために、また人間の行動が引き起こしている深刻な生態系危機（つまり気候変動）対策のために、用途を変更すべきです。
- 核による荒廃の影響をもっとも強く受けるのは、植民地化された先住民の人々です。ウラン採鉱や核兵器実験、プルトニウムや核廃棄物の投棄、貯蔵、輸送、までが彼らの土地で行われ、核施設のために土地の取り上げも行われています。歴史的な先住民の土地、水、空気の破壊は中止されねばならず、何世代にもわたる苦しみに対する救済と補償がなされるべきです。
-
- **核兵器禁止条約は、核保有国が締約国として加わろうが加わるまいが、核兵器廃絶に向けた積極的で必要なステップです。そのような条約は、調印国が核兵器を保有することを違法とし、核兵器保有に対して経済的、法的、政治的、社会的障壁を課すものとなります。さらに、核兵器に悪の烙印を押し、その廃絶を余儀なくするのに役立ちます。**

目的と目標

これらの信条にもとづき、私たちは世界的核兵器禁止条約を核兵器全面廃絶へのステップとして支持するために結集します。私たちは核兵器禁止条約の交渉を決め、世界を核による絶滅で脅している国々の力に譲歩することを拒否した国々の勇気を評価します。

私たちはこれらの国々がとった立場と、世界中で社会的・経済的正義のために人々がとっている立場とが繋がっていることを知っています。私たちは、黒人、褐色の肌の人、ラテン系の女性たちを含む、清潔な水へのアクセスなど、核兵器とより広い事項を含む環境問題の背後にある構造的暴力への意識を高めるために努力する、有色人種のコミュニティの努力と活動を評価します。

私たちは6月17日土曜日、ニューヨークシティで、次をめざして行進します：

- 全ての人々に母なる大地を破壊から守るために手をつなぐよう呼びかけます。
- 核兵器の廃絶と、私たちが共有する世界の平和と安全保障のために努力するよう、

すべての国家の道義的責任を高めます。

- 核保有国に対して、世界の大多数の人々が核兵器は禁止し廃絶すべきだと考えていることを認めるよう求めます。
- これら大量破壊兵器によって私たちの共有する社会に押しつけられている**経済的・知的重荷**を終わらせます。
- **核兵器禁止条約が交渉されているこの歴史的な会議に、メディアを通じて国内外の関心を集めます。**
- 国連でこの条約交渉に賛成票を投じることで核保有国の圧力に抵抗した**勇気ある国々の努力に結集し、支援します。**

なぜ女性がリードするのか

女性とともに有色の人々、LGBTQIA の人々は、平和と反核運動で中心的な役割を果たしてきました。私たちは、先人たちのあとに続きます。何世代にもわたって核実験・ウラン採鉱に反対してたたかってきた先住民の姉妹や人々と並んで歩みます。私たちは 1945 年日本の原爆で被爆し苦しみ続ける被爆者と、その後世界中で核実験の犠牲となった人々を支援します。私たちは先住民社会の、被爆者の、そして核兵器を禁止するためにたたかい、要請し、署名を集め、命を捧げてきた人々の魂を思い起こします。

1982 年に私たちは、核軍拡競争に反対して 100 万人を結集した行進を行いました。それから 35 年後の今、私たちは再び更新します。なぜなら今日、失いかねないものはもっと多く、危険はさらに高まっているからです。

女性が先頭に立つ理由：

- 強く、信念を持ち恐れを知らない女性たちは、歴史的に平和と社会正義の運動で先頭に立ってきました。1915 年、オランダのハーグで開かれた国際会議に、ユニークな女性のグループが当時ヨーロッパで吹き荒れていた第一次世界大戦に反対して集いました。戦争を終わらせ、将来の戦争を防ぐための方法を討議したのです。会議を組織したのは、平等な権利を求める自分たちのたたかいと平和のたたかいの間に関連があることを認識した国際参政権同盟の著名な女性たちでした。この女性たちは、戦争は不可避であるとの論理を拒否し、あらゆる障害を乗り越えて戦時中にこの会議を実現させたのです。参戦国・中立国から 1000 人を超える女性たちが集まり、第一次世界大戦を終わらせ恒久的な平和を築く土台をつくるための計画を策定しました。この会議から、婦人国際平和自由連盟 (WILPF) が結成されたのです。
- 世界中で支配的な家父長制社会は、白人男性が周縁的・脆弱な社会を支配する構

造を保持した現状維持に満足するものです。私たちは、自らの社会と母なる地球のために必要な行動を、選出議員や諸国政府に頼ることはできません。

私たちのネットワーク

主催者:



WOMEN'S INTERNATIONAL LEAGUE FOR
PEACE & FREEDOM

婦人国際平和自由連盟(WILPF): 全面的・普遍的軍縮は、1915年の創立以来 WILPF の目標です。今日私たちの国際的軍縮活動は、有名な Reaching Critical Will(リーチング・クリティカル・ウィル)を通じてコーディネートされています。WILPF の軍縮プログラムについての詳細は RCW のウェブサイトをご覧ください。

スポンサー:

女性核兵器禁止行進は、現在私たちのイベントと、世界中で行われる連帯行進への支援のためにスポンサーを求めています。以下のレベルのスポンサーを募集します:

平和の鳩(1000ドル以上の寄付者): 支援に対して、WILPF 国際事務局からのお礼状が送られ、ウェブサイトで公式に発表します。あなた(貴社)のロゴとともに、このイベントに関連する公式文書に記載します。ニューヨークのダグ・ハマショルド広場での集会で公式に発表します。現在のスポンサー: アーセノールト家族財団、日本原水協、新日本婦人の会

Arsenault Family Foundation



オリーブの枝 (500ドルから 999ドルの寄付者): 支援へのお礼として、WILPF 国際事務局からのお礼状が送られ、ウェブサイトで公式に発表します。あなた(貴社)のロゴあるいは名前を、イベントに関連する公式文書に記載します。

心への手(250ドルから 499ドルの寄付者): 支援へのお礼として、WILPF 国際事務局からのお礼状が送られ、ウェブサイトで公式にあなた(貴社)のロゴとともに発表します。現在のスポンサー: IPPNW(核戦争防止国際医師会議)、核政策に関する法律化委員会(アメリカ)



Lawyers Committee
on Nuclear Policy

パートナー:

パートナーとなる組織には、25ドルから 250ドルの寄付をお願いするとともに、私たちのチームと協力して、私たちの大義とニューヨークでの集会および世界中での連帯行進のために、組織活動、プロモーション、貢献を要請します。

現在のパートナー組織は以下のとおり(各組織の説明の訳は省略):

ICAN(核兵器廃絶国際ネットワーク)、先住民組織者連盟、ピースアクション・ニューヨーク支部、ナウ・ウィ・ライズ(我々は今立ち上がる)、PAX、国際平和ビューロー(IPB)、核時代平和財団、西部諸州法律基金




**NATIVE
ORGANIZERS
ALLIANCE**



NOW WE
RISE



NUCLEAR AGE
PEACE
FOUNDATION



賛同組織:

私たちと一緒に行動を組織する時間がなくても構いません！この行進と集会には誰でも参加大歓迎です。一人 25ドルの寄付とともに、みなさんのソーシャルメディアの中でこのイベントを宣伝して下さるようお願いいたします。

現在の賛同組織: ノーベル賞女性イニシアチブ、女性平和創造者プログラム (WPP)



working for peace, justice &



支援ネットワークに参加してください: 核兵器禁止女性行進は、スポンサー、パートナー、賛同組織の寛大な募金なしには実現不可能です。寄付についての情報と支払方法についての詳細はこちら。 <https://www.womenbanthebomb.org/donate>